

世界から人環へ・人環から世界へ

No. 19 April 2024



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニューズレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

年度	2019	2020	2021	2022	2023
招聘研究員 (客員教授・准教授)	5	1	1	5	3
招聘外国人学者	6	1	0	5	13
外国人共同研究者	6	1	3	2	7

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2023年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の中の()内は国籍/所属・身分)。

招聘研究員(客員教授・准教授)

- BANAJI, Mahzarin R. 先生(米国/ハーバード大学・教授)
- ZHAO, Li 先生(中国/蘇州大学・准教授)
- LÓPEZ-MORENO, Alejandro 先生(スペイン/IMDEA Nanoscience・副主任研究員)

招聘外国人学者

- 頼 登国 先生(中国/東北大学(中国)・准教授)
- ZHAO, Yuqiong 先生(中国/太原理工大学・准教授)
- SHARQAWY, Haitham Mahmoud 先生(エジプト/ジャズープ・アル・ワーディ大学・専任講師)
- 盛 益民 先生(中国/復旦大学・教授)
- CHEN, Xiaoxiao 先生(中国/中国科学技術院・准教授)
- STEINECK, Raji Carl Ludwig 先生(スイス/チューリヒ大学・主任教授)
- ERNAWATI, Lusi 先生(インドネシア/Kalimantan Institute of Technology・講師)
- COMERFORD, Mark 先生(アイルランド、米国/ロードアイランド大学・教授)
- BIANCOROSSO, Giorgio 先生(イタリア/香港大学・教授)
- 婁 雨婷 先生(中国/大連外国語大学・講師)
- ESCUDE, Pierre 先生(フランス/ボルドー大学・教授)
- 曾 秋桂 先生(台湾/淡江大学・教授)
- 王 方 先生(中国/河南大学外語学院・准教授)

外国人共同研究者

- QUINTERO LIZARRAGA, Oscar Luis 氏(メキシコ/ヌエボ・レオン自治大学・修士課程学生)
- OLADIPO, Adewale Odunayo 氏(南アフリカ/南アフリカ大学・博士研究員)
- CALVO, Daniela 氏(イタリア/CETRAB (Center of Afro-Brazilian Traditions, Rio de Janeiro)・研究員)
- SAHIN, Ture 先生(トルコ/マッコリー大学・PhD Candidate)
- MOXHAM, Oliver Andrew 氏(イギリス/ケンブリッジ大学・博士課程学生)
- 王 梦悦 氏(中国/北京理工大学・博士後期課程院生)
- BAE, Jihyun 氏(韓国/釜山大学・博士満期退学研究生)

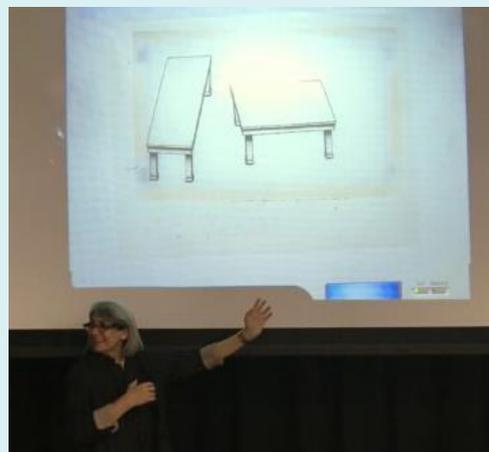
国際交流セミナー

人間・環境学研究科では、常時数名の招聘研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第84回 2023年10月26日

演者 マーザリン・R.バナージ 先生
(Prof. Mahzarin R. BANAJI)
米国／Harvard 大学教授

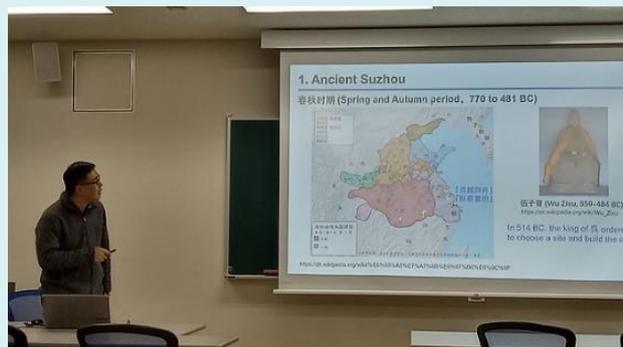
演題 Blindspot: Hidden biases of good people
(ブラインドスポット：善き人々の隠れたバイアス)



第85回 2023年12月8日

演者 リ・ザオ 先生
(Prof. Li ZHAO)
中国／蘇州大学准教授

演題 Beautiful Suzhou: A harmonious blend of
classics and modernity
(美しい蘇州：古代と現代が調和した都市)



第86回 2024年3月19日

演者 アレハンドロ・ロペス=モレノ 先生
(Dr. Alejandro LÓPEZ-MORENO)
スペイン／IMDEA Nanociencia

演題 Unveiling the Spanish Culture and Traditions
(スペイン文化と伝統の秘密を明かす)



学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得課程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にしてください）。以下、昨年度留学をした2人をご紹介します。（説明は、①留学先、②留学先の所属(身分)、③研究テーマ、④奨学金、⑤留学期間、⑥メッセージ）

播磨 美有さん（東アジア文明講座・修士2年生）

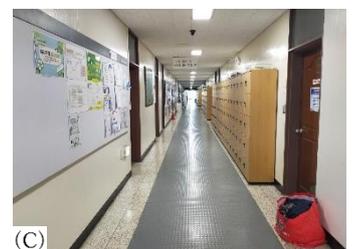
① 中華人民共和国、天津 ② 南開大学、言語文化学院、交換留学生 ③ 中国における精神障害者の歴史的な取り扱い方 ④ JASSO 海外留学支援 ⑤ 2023年9月～2023年12月 ⑥ 街中で聞こえる現地の人たちの語りや、普段の生活や旅行などで出会った人との突然の会話などが留学中の一番の刺激でした。また留學生活は、自分が研究をどのような姿勢で行なっていくべきか、そして現状の中国語力でどこが足りないかといった点を客観的に理解し直すことができるいい期間になったと思います。一方、4ヶ月は想像よりも短かったので、また機会があれば、一年など長期の留学に挑みたいです。



(A)中国で参加した中国人の友人の結婚式 (B)ハルビンの雪まつりの様子 (C) 現地の授業の様子 (D)学校から自転車で20分程度の場所にあるアパート

竹田 響さん（文化・地域環境講座・博士3年生）

① ソウル大学校 ② 社会科学大学 人類学科 博士課程（交換留学） ③ 日本と朝鮮半島に跨る在日朝鮮人の親族関係に関する文化人類学的研究 ④ 日本学生支援機構 海外留学支援制度（協定派遣）、第一種奨学金 ⑤ 2022年8月～2023年7月 ⑥ コロナ禍でフィールドワークのための渡航ができなかったことから、交換留学制度を活用しました。かねてから留学への憧れはあったのですが、まさか自分自身が博士課程で交換留学をするとは思っていませんでした。ソウル大の指導教員との面談を定期的に行っていた他、学会発表などを行いました。韓国国内の文化人類学者と知り合えたことも良かったです。



(A)所属学科の看板の前にて。文化人類学の他、社会学、地理学、心理学などが入っています。(B)文化人類学の院生室の様子。机を割り当ててもらいました。(C)院生室前の廊下。この校舎は改修工事のため、今はもぬけの殻になっています。

外国人留学生

人間・環境学研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。京都大学全体では2023年5月1日現在、2,855名の留学生が在学し、そのうち202名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学生675名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約27%に当たり、また、その出身地は22の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

表2 留学生受入れ数

（各年度5月1日現在）

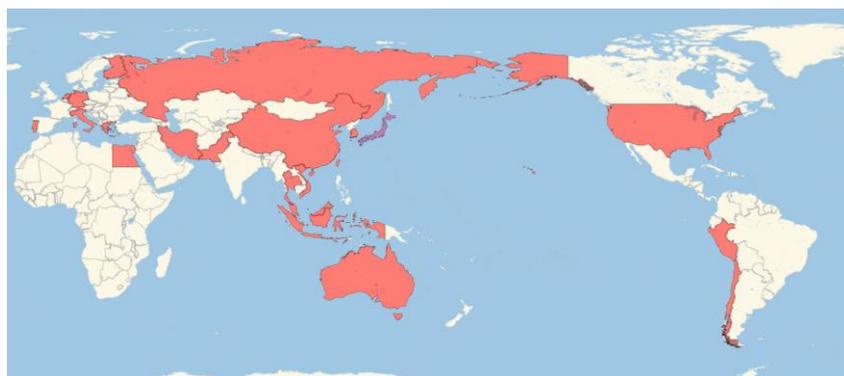
年度	2019	2020	2021	2022	2023
修士課程	96	86	78	79	82
博士後期課程	76	79	81	85	93
非正規 (研究生・特別研究学生 特別聴講学生)	21	19	13	24	27
合計	193	184	172	188	202

表3 留学生出身国地域別人数

（2023年5月1日現在）

中国	160	オランダ	1
韓国	11	ギリシャ	1
台湾	7	タイ	1
米国	4	ドイツ	1
チリ	2	フィンランド	1
ロシア	2	パキスタン	1
イタリア	1	ベトナム	1
インドネシア	1	ペルー	1
イラン	1	ポルトガル	1
エジプト	1	マカオ	1
オーストラリア	1	マレーシア	1

計 202 人



◆ URL: <https://www.h.kyoto-u.ac.jp/international/>

◆ 問い合わせ先

- 国際交流委員／留学生アドバイザー
Matthew de Brecht (マシュー・ディブレクト)
Email: jinkan_ryugaku@h.kyoto-u.ac.jp

- 京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2951/2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp